

MOT(技術経営)からの お役立ち情報の提供

このショート・レクチャーの狙い:

目的達成までの道のりや課題を整理をするうえで役立つMOTのツールを紹介する。

日時 2012年04月18日(水)18:00~18:15 15分間

場所 電気通信大学 西11号館 イノベーティブ研究棟5F

講師 安部 博文 Abe Hirofumi 博士(経済学) 中小企業診断士

電気通信大学 産学官連携センター

インキュベーション・マネジャー(IM) 非常勤講師

本レクチャーの構成

1 MOT: Management of Technology

2 ツール スライド4~7

全7スライド

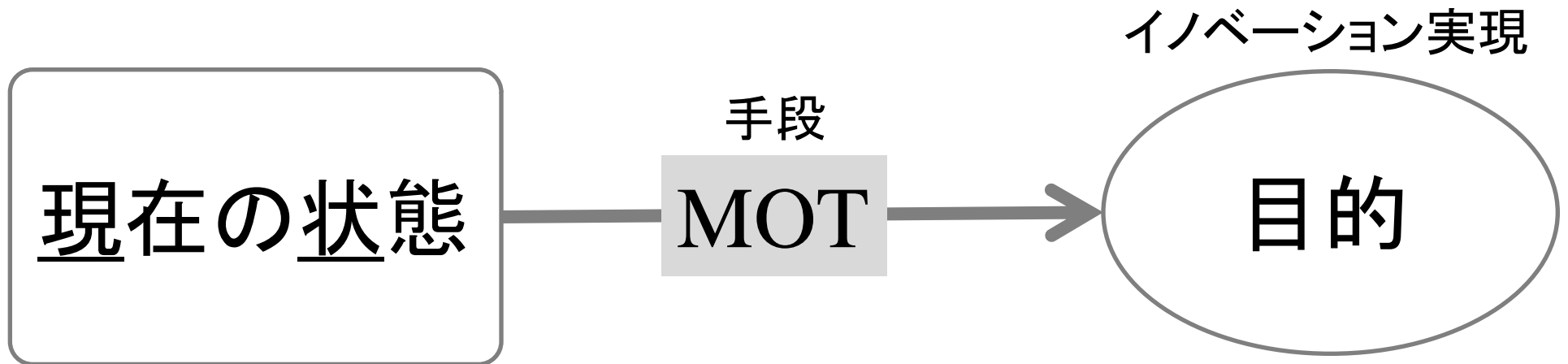


▲2012年03月13日, UECインキュベーション施設入居企業交流会(第9回)の様子。

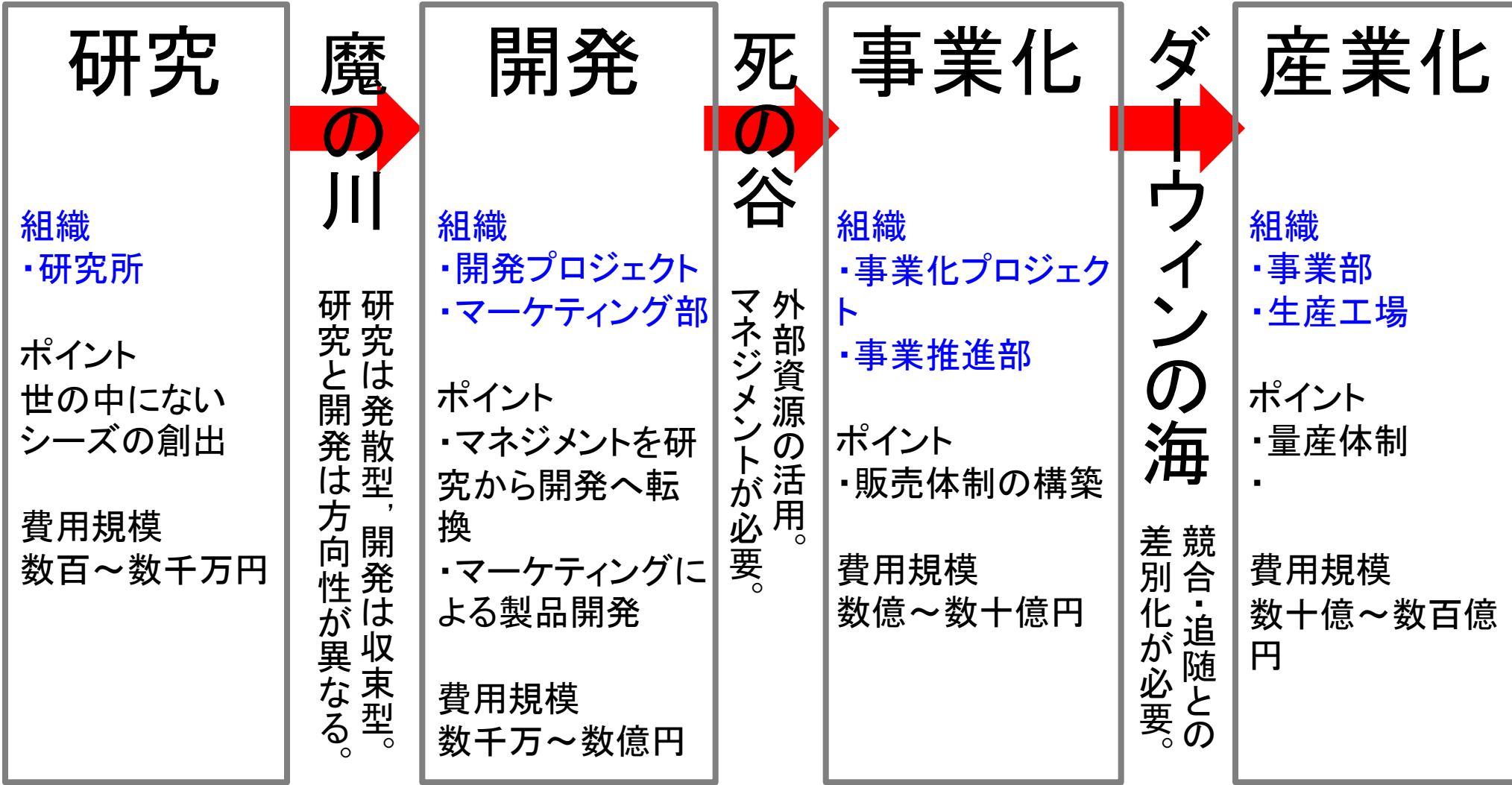
MOTは

研究開発の成果を事業化，産業化へ効率
良く結びつけるツール群。

イノベーション実現の手段。

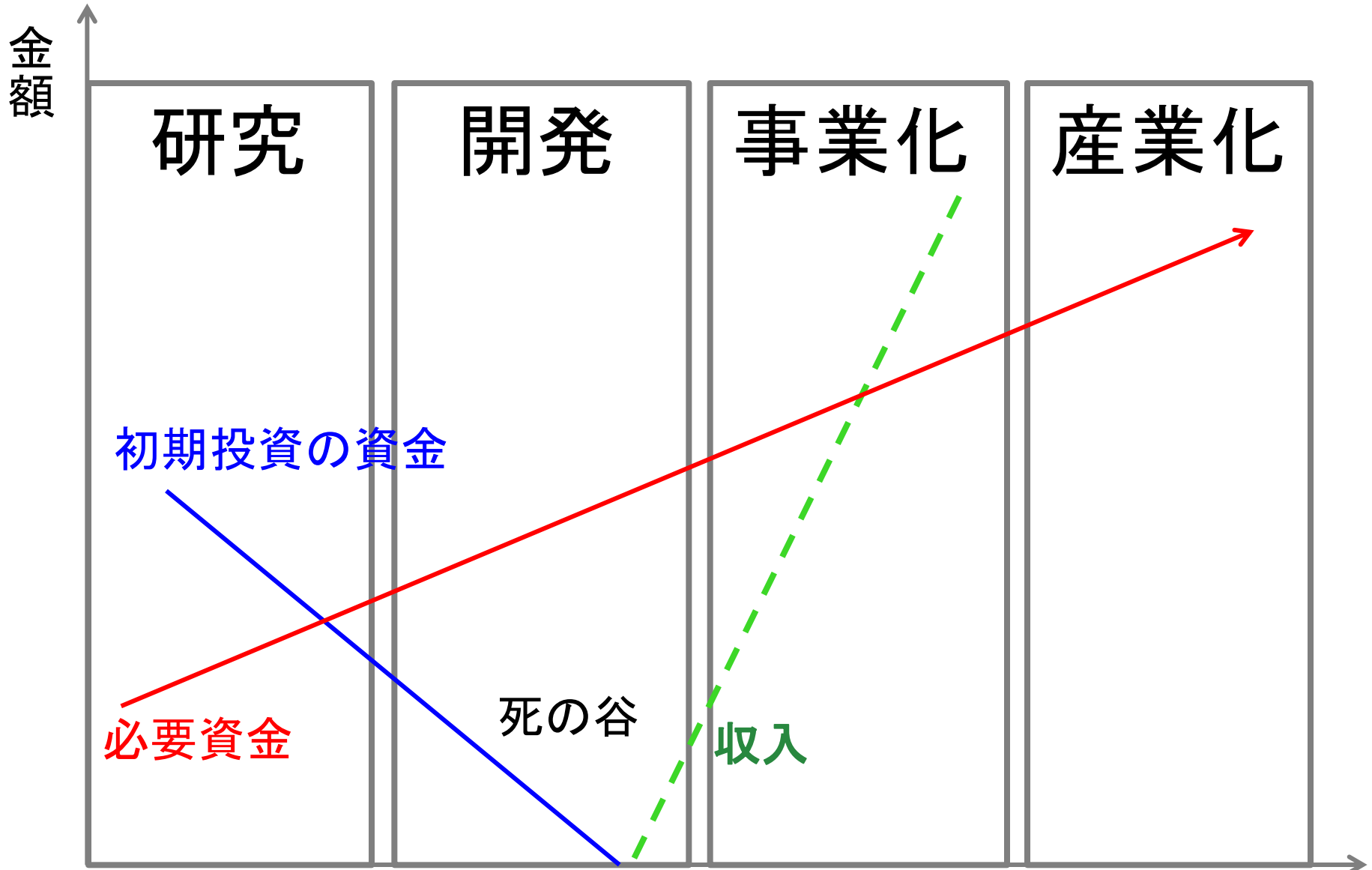


4つのステージ



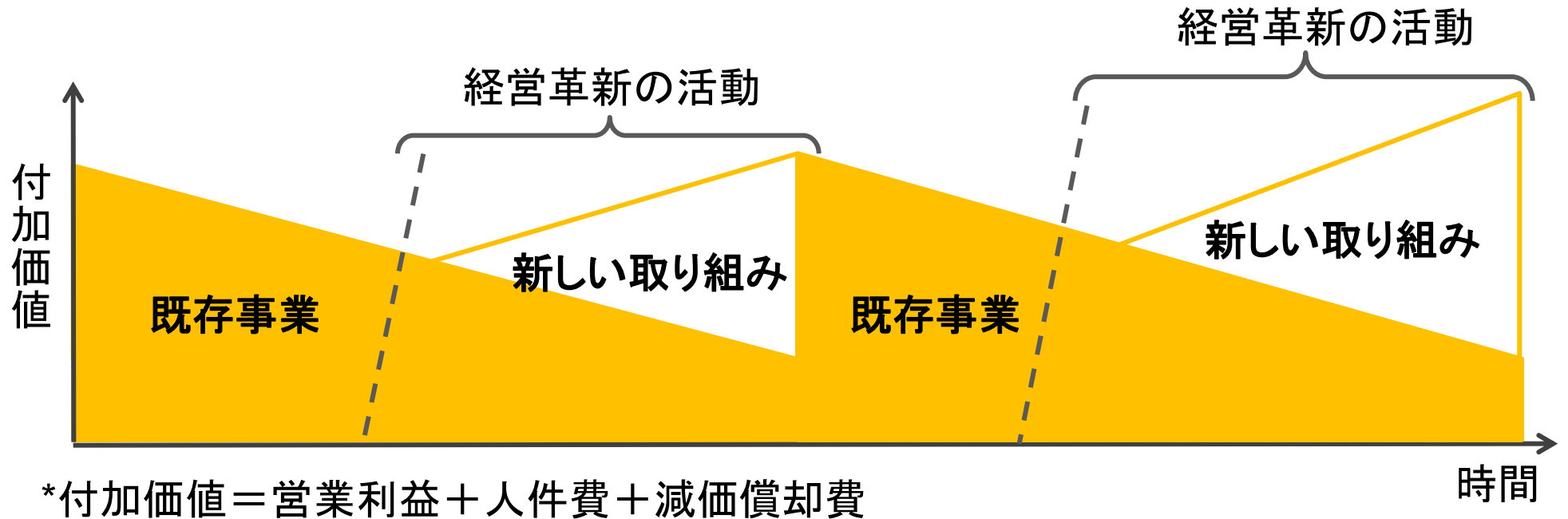
焦点

4つのステージ 資金予見モデル



連続的イノベーション

連続的経営革新活動のモデル図



決算書モデル思考

損益計算書 P/L

貸借対照表 B/S

費用

製造原価 C/R

人件費・材料費・経費

販売管理費

人件費

地代・家賃

水光熱費

減価償却費

売上高

- 誰が
- 誰に
- 何を
- いつまでに
- どうやって売るのが

流動資産

現金・預金

売掛金

棚卸資産

固定資産

有形固定資産

無形固定資産

負債

(他人資本)

流動負債

固定負債

純資産

(自己資本)

資本金, 剰余金

営業利益